

国語教育講座 橋本 昭典



中国古典、関西江戸期漢文学の研究



キーワード 論語 / 諸子百家 / 経学 / 日本漢文 / 奈良の漢学 /

どのような研究をなぜ行っているか

1. 『論語』『孫子』『荘子』などの諸子百家思想研究
2. 中国儒教経典解釈史である「経学」研究
3. 兵庫、大阪、奈良を中心とする漢文文書や石碑資料の調査・研究

以上の研究を通して、日本にとって重要な隣国・中国を理解するためのより正確な知識や情報を提供し、あわせて祭祀や儀礼、元号など、日本に残る伝統中国の影響をも伝えていきたいと思ひます。

研究成果をどのように活用し、どのような貢献ができるか

・正確な中国理解のために

中国という国家の土台となった諸子百家の思想・哲学や儒教経典の研究を通して、長くて複雑な中国の歴史を正しく読み解くための手がかりを発信していきます。

・日本に残る伝統中国文化を後世に伝えるために

日本各地には漢文で書かれた文書や石碑が多く残っています。現在では埋もれてしまっているこれらの文書や碑文を調査・研究することで、地域に根付いていた中国古典文化を後世につなぐ役割を果たします。

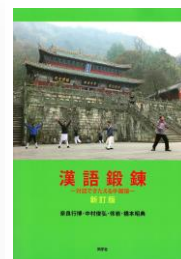
・中国語、漢文を使える人材を養成するために

中国語教科書の作成や漢文読解講座を行うことで、中国語・漢文文献の読み手を養成します。

これまでの連携研究や社会貢献活動の実績

『中国は“中国”なのか
「宅慈中国」のイメージと現実』

- 『朝日新聞』「好書好日」2021/11/17
(もと『朝日新聞』2021/11/13の記事)



- 『朝日新聞』2022/3/25

葛兆光氏インタビュー記事「よみがえる帝国の記憶」

